

2019年6月26日

各位

東京都港区六本木一丁目6番1号
SBIリーシングサービス株式会社
代表取締役社長 階戸 雅博

世界初となる AFIC を活用した 日本型オペレーティングリース案件の実行について

SBIリーシングサービス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：階戸 雅博、以下「当社」という。）は、保険仲介とリスクマネジメントの大手である MARSH LLC.（本社：米国、代表：John Q. Doyle）が新たに開発した保険スキームである Aircraft Finance Insurance Consortium（以下「AFIC」という。）を活用したファイナンスを、航空機リースサービシング会社の ABL Aviation（本社：アイルランド、代表：Ali Ben Lmadani）と共同でアレンジして、ボーイング社製 787-9 航空機を対象とした日本型オペレーティングリース案件を実行しましたので、お知らせします。なお、AFIC を活用した日本型オペレーティングリース案件は、世界初の取り組みとなります。

AFIC とは、Sompo International、Allianz Risk Transfer など複数の保険会社からなるコンソーシアムが、資金拠出者に対して、航空会社のデフォルトリスクをカバーする保険（ANPI: Aircraft Non-Payment Insurance）を提供する制度です。航空会社の信用力を保険でカバーする結果、AFIC を活用したエアクラフト・ファイナンスにおいては、航空会社単体の格付けよりも有利な格付けの取得も可能となり、キャピタルマーケットからの資金調達も容易になると期待されています。右肩上がり で成長を続けている航空機業界をファイナンス面で支える新たな制度の登場は、業界内で大きな注目を集め始めています。（ご参考：2019年6月25日掲載 日本経済新聞朝刊 金融経済面「航空機融資、地銀にも門戸 損保ジャパンが融資保険に参入」）

当社では、SBI グループの掲げる「顧客中心主義」に基づき、お客さまの最善の利益を第一に考え、今後も積極的に新しい金融スキームに取り込み、船舶や航空機などの資産を対象に、投資家の皆さまに魅力あるリース事業への投資機会を提供するとともに、設備投資ニーズを有する海運会社や航空会社にリースを活用した競争力のある資金調達手段を提供することで、投資家と設備投資ニーズを有する企業の橋渡しを行う「リーシングサービス」事業の拡大に取り組んでまいります。

SBIリーシングサービス株式会社

■第二種金融商品取引業者

登録番号：関東財務局長（金商）第 3016 号

加入協会：一般社団法人第二種金融商品取引業協会

■貸金業者

登録番号：東京都知事（1）第 31678 号

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先
SBIリーシングサービス株式会社 事業開発本部 03-6229-1080